

## 4つの森林活動

みなさまの参加を  
お待ちしております



小手澤の森  
第1・3日曜日



知足の森  
第1・3日曜日



相模湖・嵐山の森  
小原本陣の森  
不定期活動

# News Letter

## NPO法人緑のダム北相模

[midorinodam.jp](http://midorinodam.jp)



**No.607-608**

昨年より種子から育てていたセンダンを植樹しました

### 【定例活動報告】

森の活動の可能性を上げたい。常々、そんな想いを抱きながら活動に参加しています。現在、私自身の本業は企業の組織開発や人材育成に関わるものです。平たく申し上げますと、研修を企画したり、その講師を務めたり、コーチングやファシリテーションを提供したりしています。その延長線上で、可能であれば企業の『チームビルディング研修』などで森を活用できないか可能性を探っています。以前から企業教育のコンサルタントの方をお招きしたりしてきましたが、5月には『日本コーチ協会神奈川チャプター』のメンバーが活動に参加してくださいました。日ごろは屋内でコーチングをされている皆さんに、森の活動を体験してもらい、いつも以上に

緑のダム北相模は相模原  
市内で活動する森林ボラ  
ンティアです。急がず、無  
理せず、楽しく、休ま  
ず、ボチボチと・・・



五感を大切にして、コーチングに活かしてもらえれば、そしてあわよくば、クライアントを連れて森に還ってきて欲しい・・・そんなことを考えていました。コーチはセッションのなかでクライアントに新たな視点を提供したりしますが、いつもとは違う参加者の方から、異なる視点を提供していただく機会をこれからも創っていきたいと思います。

栗田 浩史（本会、会員）

## 【定例活動報告】 知足の森

今回の活動には、初めて間伐をする、一年生や大学生の方々がたくさん来ていました。

私は3年生ということもあり、間伐の方法や、木の選び方、切る時の注意などを説明しながら作業を行いました。今何をしているのか分からないまま作業することにならないように気を付けたつもりですが、本当にうまく伝えられたのか、とても不安です。とはいえ、同じチームの皆さんの協力のおかげで引かかることなくきれいに倒せたので良かったですと思います。

そして、午後には東屋周辺の果樹園で、紫陽花の手入れを手伝わせていただきました。お手本では紫陽花の枝が綺麗に並んでいたのですが、自分でやってみるとごちゃごちゃしてしまい、かなり難しかったです。また、以前植えたセンダンの苗が順調に育っているかの確認と草刈りも行いました。自分の手で種から育ててきたものが、こんなにも順調に大きくなっているのかと感動しました。これからも元気に育ってほしいです。

鈴木 友結（GTE LAB 中学3年女子）



今回の活動では、午前はいつものお寺の奥の森で3チームに分かれて間伐をしました。

今回は1年生が初めて来る森の活動で、みんなノコギリの使い方がとても上手だったし、積極的に動いてくれたので感動しました。

木を選んで倒す方向を決める際には先輩と一緒に考えたり、1年生に倒す時のポイントを教えたりできたので良かったです。でもまだ教えきれてない事もあるので、徐々に教えつつ1年生の疑問にしっかり答えられるようにしていきたいです。

午後は果樹園の方に植えてあるセンダンの周りの草むしりをしました。センダンは無事にすくすく育っていたし、成長が早い木なのでこれからは楽しみです。周りの草を取るのにはセンダンも取ってしまいそうで緊張しましたが、終わるとセンダンの成長を邪魔する草が無くなったし、見栄えも良くなりました。これからは2年生として1年生に丁寧に教えながら、率先して活動に取り組んでいきたいです

井手 菱誠（GTE LAB 中学2年男子）



## 桜井尚武の 森のコラム

### 「センダン(*Melia azedarach*)」



図1 自然発生のセンダン稚樹の葉  
20220619 小原相模湖



図2 センダンの花  
20240511 海の公園南口横浜



図3 センダンの果実  
20231217 高速道路管理事務所隣宅小原相模湖



図4 センダンの机天板木目が見事  
240528 大日本山林会事務所東京



図5 昭和記念公園立川口外部のセンダン  
20220108 昭和記念公園

センダン科の落葉高木で樹高30m、直径1mにもなるという記載がありますが、普通には樹高10~20m、直径20~50cm程度です。葉は互生で2回羽状複葉ですが3回羽状複葉のものもみられるそうです。小葉には目立つ鋸歯があります(図1)。花は紫で5、6月に集散花序に着きます。中心には10本の雄蕊が合着した筒状の器官が目立ちます(図2)。花後に生ずる果実は晩秋になって黄色に熟し落葉した後も、翌年まで枝に残って目立ちます(図3)。本種は有毒です。

分布は四国、九州、沖縄、台湾、中国、ヒマラヤの海辺の山地とされていますが、関東南部以西の海岸近くの丘陵地や山地帯にも見られるという報告もあります。広い範囲で植栽されたものから逸出したものが半自生状態で観察されているものだと思います。

センダンは古くはあうち(棟、樗)と呼ばれ、花を鑑賞するために庭木に、また建材、家具材、楽器材としての利用のために植えられたことが知られています。これが近代になって顧みられなくなったのは何故でしょうか。平家物語に罪科の見せしめ用の掛け木に使われたと書かれたことから生じた縁起の悪いものという風評が大きく影響しているのかも知れません。ただ一般にはこの花の鑑賞価値や材の有用性の人気は維持されたようです。スギやヒノキに慣れた近代林業界では、材が曲がり直材が取れない、割れや狂いが目立つ、強度が乏しいなどの理由で相手にされませんでした。しかし、この樹木は成長がとても早く家具(図4)や指物に必要な大きさの材が短期で収穫できることが見直されて(図5)、各地で見直しが始まっています。枝が多い、材が曲がるなどの問題は木化する前の発生初期の枝になる芽を目的の幹長を採れる位置まで掻き取るという熊本県の林業研究機関の実証実験で解決の道が開けました。図5のセンダンは植栽後5年程度と思いますが樹高8m、直径は20cm程度と十分な早生樹で最近数年の年間伸長量は2m位あると思えました。分布の北端部に当たる緑のダム北相模の活動地にもこの樹種の植栽が始まりました。これからが楽しみです。

桜井 尚武(本会、会員)

## 【活動報告】 武蔵野市の木工ワークショップを担当しました

今回は、武蔵野市環境政策課さんからの依頼で、同市の環境普及施設、エコreゾートで木工ワークショップを実施しました。以前行ったブックスタンドづくりを20名の小学生に作ってもらいました。

私は、今回のイベントでは、後半の子供たちへの間伐をする理由の説明を担当しました。とても緊張しましたが、毎月着々と森に行っていたのですらすらと話すことができました。

その説明はとても大変でしたが、もっと大変だったのが、ブックスタンド作りのお手伝いです。特に前半は、一人で二人見ないといけなかったのが、とても大変でした。しかし、二人のうち、一人はやすりがけをしてもらい、そのうちに、もう一人の子は組み立ててもらったので助かりました。後半はマンツーマンで出来たので、とても楽に出来ました。ねじがうまく入らなかったり、少しずれてしまった所などの、不満そうな所を最後に私ができるだけ直してあげたことはよかったなと思います。なにより、お客さんが喜んでくれてよかったです。

小林 健晟 (GTE LAB 中学2年男子)



### NPO法人 緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人 緑のダム北相模  
現地事務局：〒252-0172 相模原市緑区与瀬本町12 かどや食堂内  
支援団体：セブンイレブン記念財団  
積水ハウスマッチングプログラム、国土緑化推進機構  
パタゴニア  
協働団体：神奈川県、相模原市、麻布大学、マルモ出版、  
東京学芸大学環境教育研究センター、  
(社) 東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構、  
(社) さがみ湖 森・モノづくり研究所

#### 参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴 成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

#### 危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランティア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。



緑の募金



一般財団法人  
セブンイレブン  
記念財団



SEKISUI HOUSE  
MATCHING PROGRAM

